

(一社)九州観光推進機構 活動レポート

— 2018年1月号 —

12月の主なトピックス

観光庁へ「日本版DMO候補法人」登録申請を実施	1P
JRプロモーション事業 第2回旅行会社研修	2P
ASEAN2か国における九州観光説明会・商談会事業	3P
「マラソン in 九州」、「ひなの国九州」サイトリニューアルオープン	5P

◆ 12月のトピックス

○ 観光庁へ「日本版DMO候補法人」登録申請を実施

(12/8)

2017年4月より当機構の日本版DMOの申請について検討を進めてまいりましたが、九州7県の承認を経て、観光庁へ広域連携DMO候補法人として、登録申請を行いました。今後、日本版DMO法人登録へ向け、機能強化、体制整備を行ってまいります。

※日本版DMOとは？(観光庁HPより)：日本版DMOは、地域の「稼ぐ力」を引き出すとともに地域への誇りと愛着を醸成する「観光地経営」の視点に立った観光地域づくりの舵取り役として、多様な関係者と協働しながら、明確なコンセプトに基づいた観光地域づくりを実現するための戦略を策定するとともに、戦略を着実に実施するための調整機能を備えた法人です。

第二期九州観光戦略(～2023年)

ビジョン：観光を九州の基幹産業とする
KGI：観光消費額4.0兆円達成

	実績	目標	
	2016年	2019年	2023年
観光消費額	2.4兆円	3.1兆円	4.0兆円
訪日外国人	4,093億円	6,659億円	12,000億円
国内宿泊	16,363億円	19,760億円	22,400億円
国内日帰り	3,471億円	4,763億円	5,600億円
訪日外国人数	372.1万人	539.8万人	786万人
延べ宿泊者数	4,380万人泊	5,136万人泊	6,800万人泊

第二次アクションプラン(2017年～2019年)

九州ブランドのイメージ戦略

観光消費額の増加

来訪者の増加 リピーターの獲得

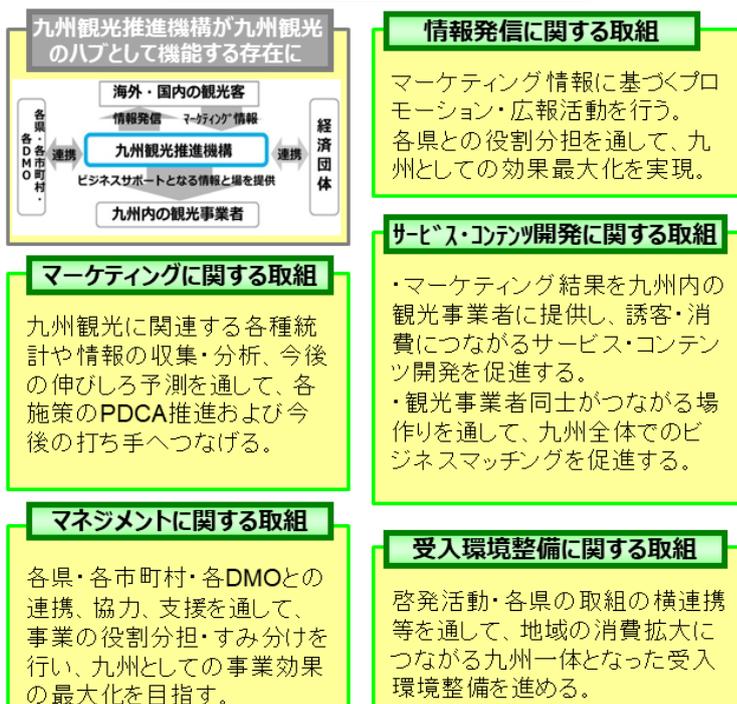
旅行消費単価の向上

九州観光推進機構の役割

- 九州観光戦略の中核的な実行組織
- 九州における魅力ある観光地づくりと国内・海外観光客等の九州への誘客を推進し、観光産業の振興と九州経済の発展に寄与する

九州観光戦略目標実現に向けて

「マーケティング」×「情報発信」×「地域の稼ぐ力を引き出す」で、「観光を九州の基幹産業へ」を実現



(申請書の一部)

○ オルレフェア 2017～おれんじオルレ～

(12/1～2：鹿児島)

2017年2月に九州オルレコース認定を受けた九州オルレ出水コースにおいて、初のオルレフェアとなる「オルレフェア 2017～おれんじオルレ～」が開催されました。

12月1日、鹿児島県出水市で、出水市長 渋谷俊彦氏、駐福岡大韓民国総領事館 総領事 金玉彩氏を含め総勢17名による交流会を実施しました。交流会には、当機構の緒方副本部長が参加し、出水市および駐福岡大韓民国総領事館の方々との交流を深めました。

翌12月2日には、渋谷市長、金総領事両名をはじめ約200名(一般参加者含む)が、スタート地点の厳島神社を午前11時にスタート。地元の方から多くのおもてなしを受けながら、出水市麓歴史資料館までの13.8kmを歩きました。

「九州オルレ」は九州7県に21コース※あり、今後も、当機構は九州オルレを通じて各地域の魅力を伝えてまいります。

※平成29年12月末現在。21コースの内、新2コースは平成30年3月中旬オープン予定。



○ JRプロモーション事業 第2回旅行会社研修

(12/4～6：鹿児島、宮崎)

大都市圏および他地域の政令指定都市から九州への旅行を促進するため、関西及び中国地区の旅行会社の商品造成担当者を対象に、鹿児島県と宮崎県で現地研修を実施しました(参加人数18名)。

鹿児島県では、西郷隆盛のゆかりの地(鹿児島、指宿、志布志)巡りと、インスタ映えスポットとして注目が集まる大隅地域を視察しました。宮崎県では、島津家発祥の地である都城島津邸や、新しい施設のオープンやリニューアルで魅力が高まる飫肥・青島地域を視察しました。

参加者からは、商品パンフレットに掲載しているが、実際に現地を訪れたことが無かったため、今後の販促の参考になる、との感想が寄せられました。今後も九州への誘客に向けて、旅行商品の魅力向上のための現地研修を、関係する皆さまのご協力をいただきながら、展開していきます。



○ ASEAN 2 か国における九州観光説明会・商談会事業 (12/12~14:シンガポール・タイ)

経済発展やビザの緩和等により訪日旅行者が増加している ASEAN2 か国（シンガポール・タイ）からの誘客促進のため、九州観光説明会・商談会を実施しました。

シンガポールでは、12月12日 Novotel にて商談会を開催し、シンガポール側旅行会社16社、九州側17団体に参加いただきました。また、タイの商談会は、12月14日にバンコクで開催し、タイ側旅行会社52社、九州側20団体の方々に参加いただきました。九州側からは自治体を中心に宿泊施設、ランドオペレーター等に参加いただき、九州内観光地などの紹介から具体的な商談まで幅広い話がなされ、今後の九州への誘客につながるものと期待されます。



○ 九州各県国内担当者会議の開催 (12/8:福岡市)

九州各県・観光連盟、本機構国内誘致推進部担当者による「平成29年度第2回九州各県国内担当者会議」を開催し、今年度事業の中間報告や宿泊旅行統計（観光庁）の説明、また来年度事業に向けた機構の事業方針の説明を行いました。

今後、九州は明治維新150周年記念事業や新たな世界遺産の登録予定など大きなトピックスが多く、来年度に向けて九州7県一体となった取り組みを行っていくことを確認しました。

九州各県・観光連盟との連携強化は、各々の事業推進において極めて重要であるため、今後も、定期的に協議を行い、効果的な事業運営に取り組んでいきます。



○ 熊本県教育旅行誘致推進事業「震災復興プログラム」ガイド研修会参加

(12/15:熊本)

熊本県観光連盟、熊本県ならびに2市1町2村(熊本市、阿蘇市、益城町、南阿蘇村、西原村)では、「防災・減災」をテーマとした教育旅行プログラムを造成し、熊本地震により減少した修学旅行生の需要回復に向け連携した取り組みを行っています。その取り組みの一つである教育旅行プログラム「火山と共存する阿蘇人(あそもん)から学ぶ防災」(阿蘇火山博物館)のガイド養成研修会に参加致しました。この教育旅行プログラムは以下の構成となっており、平成30年4月からの受け入れ開始を予定しています。

教育旅行プログラム「火山と共存する阿蘇人(あそもん)から学ぶ防災」

- ① 映像(15分):阿蘇の自然、歴史等の映像
- ② 座学(30分):学芸員による防災に関する座学(説明)
- ③ ガイド案内(30分):ガイドによる火山の生い立ち、自然災害などに関する展示物の案内(説明)

また当機構で3月1日に実施する「第2回九州教育旅行ふっこうセミナー」でも当該プログラムを視察する予定です。



○ 「ご来福の旅」及び「六郷満山開山1300周年事業」現地視察事業

(12/19~20:福岡、大分)

九州の旬の観光素材を当機構会員旅行会社に提案し、周遊観光を促進していくため、福岡県「ご来福の旅」及び大分県「六郷満山開山1300周年事業」の2素材の現地視察事業を開催し、15社21名に参加いただきました。

「ご来福の旅」では、竈門神社は女子旅向けの素材として活用できる、宮地嶽神社は奥の院のスタンプラリー企画を商品化したい、との意見を頂きました。また「六郷満山」は、今まで訪れたことがなかった、文殊仙寺の護摩炊き体験や真木大堂の仏像が圧巻の迫力だった、との感想を頂きました。一方で2素材の周遊に向けては、移動距離の長さや2次交通、現地ガイドの有無が素材の理解度を左右するなどの課題も多く見受けられました。今後、福岡県、大分県両県において広域観光の検討が進む予定であり、今回の結果を共有しながら九州の新たな周遊モデルルートとなるよう支援してまいります。



福岡県 竈門神社



福岡県 宮地嶽神社



大分県 富貴寺

○ 九州教育旅行現地視察事業

(12/24~26:福岡、佐賀、長崎、大分)

九州の最新の教育旅行素材を関西・中国地域の中学校の教職員に体験していただくため、北部九州4県を巡る教育旅行現地視察会を実施しました(参加人数8名)。

大分県ではグリーンツーリズム発祥の地である宇佐市安心院町の民泊を視察し、福岡県では新たに展示室が開設された太刀洗平和祈念館で、感情のこもった朗読劇などを鑑賞しました。佐賀県では吉野ヶ里公園で弥生時代の広大な遺跡を見学し、長崎では11月24日に表門橋が供用開始されたばかりの出島を視察しました。各施設・各県からは、学習内容や受入体制について説明がなされ、参加者は、熱心に聞き入っておられるとともに、震災後の防災学習や環境学習についての素材提案の要望もありました。

終了後、参加者からは、現在の教育旅行の行き先としては沖縄が主流であるが、今後の検討において大変参考になったとのご意見や、価格や素材の内容からも九州が魅力的であるのご意見も頂きました。



大分県 安心院民泊視察



佐賀県 吉野ヶ里遺跡見学



長崎県 出島見学

◆ 九州観光推進機構からのお知らせ

○ 九州観光推進機構サイトの会員向け情報ページに「観光統計情報」を掲載 (1/12)

「九州の外国人入国者数の推移について～2017年11月(速報値)、2017年10月(確定値)」を掲載しました。ぜひご活用ください。なお、会員向け情報ページを閲覧するには、IDとパスワードが必要になります。ご不明な点は下記お問い合わせ先までお願いします。

○ 「マラソン in 九州」、「ひなの国九州」サイトリニューアルオープンしました!

当機構HP「旅ネット」内の「マラソン in 九州」および「ひなの国九州」のサイトをリニューアルオープンしました。2018年の最新スケジュール等が掲載されていますので、ぜひご覧ください。

マラソン in 九州

<https://www.welcomekyushu.jp/marathon-in-kyushu/>

ひなの国九州

<https://www.welcomekyushu.jp/attaka/hina/>



○ 1月以降の主な事業

- ・韓国における FIT、訪日リピーター客による九州滞在型観光促進のための招請及び情報発信事業

(2018年1月8～22日)

- ・韓国におけるテーマ旅行 (SIT) 推進事業 (2018年1月31日～2月10日)
- ・タイ旅行博出展・旅行会社招請事業 (2018年2月7～11日)
- ・第2回九州教育旅行ふっこうセミナー (2018年3月1～3日)
- ・インドネシア旅行博 (Japan Travel Fair) 出展事業 (2018年3月9～11日)
- ・マレーシア旅行博 (MATTA) 出展事業 (2018年3月16～18日)

○ 観光 PR 動画「ONSEN ISLAND KYUSHU JAPAN」、好評配信中！

動画について、詳しくは活動レポート12月号をご覧ください。

<https://www.welcomekyushu.com/onsen-movie>



☆九州旅ネットメールマガジン配信中！☆

九州旅ネットよりカンタン登録ができます。

旬の観光情報を配信していきますのでぜひご登録ください！

九州旅ネット：<https://www.welcomekyushu.jp/mailmagazine/>

◇◇ お問い合わせ先 ◇◇

一般社団法人 九州観光推進機構 企画部 野間、川口

TEL:092-751-2943 (代表)

092-751-2946 (国内誘致推進部^タ イルイン)

092-751-2947 (海外誘致推進部^タ イルイン)

092-751-2951 (九州観光広報センター^タ イルイン)

FAX:092-751-2944

E-mail：infokkyushu@welcomekyushu.jp

～編集後記 第13回～

皆さま、あけましておめでとうございます。今年もどうぞよろしくお願ひいたします。さて今年も、「六郷満山1300年」、NHK大河ドラマ「西郷どん」、「奄美大島、徳之島、沖縄島北部および西表島」および「長崎と天草地方の潜伏キリシタン関連遺産」の世界遺産審査とトピックスが多い年となります。今まで以上に九州観光が魅力的になっていくので、ワクワクしますね！

ということで、まずは、西郷どん見て、鹿児島・指宿に行ってきました。指宿では、鰻温泉周辺のまちあるきと「スメ料理体験」をしてきました。

「スメ」は、温泉の地熱と湯気を利用したかまどのことです。

お野菜がとっても甘くて美味しかったです。次は、どこで何食べようかな。(野)

